

船舶インシデント調査報告書

令和7年9月17日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（機関故障）
発生日時	令和6年12月17日 12時30分頃
発生場所	長崎県対馬市豆駿崎南方沖 豆駿崎灯台から真方位 175° 20.2 海里付近 (概位 北緯 33° 46.1' 東経 129° 12.2')
インシデントの概要	漁船達洋丸は、はえ縄漁の操業中、主機が運転できなくなり、運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和7年4月7日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報	<p>船種船名、総トン数 漁船 達洋丸、6.6トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 KM2-3783（漁船登録番号）、個人所有 第293-22555（船舶検査済票の番号） ディーゼル機関、船内機、4サイクル、出力 279.3 kW、回転数 毎分 2,300、6気筒、ボア 117.9mm、使用燃料軽油、機関製 造年月日不詳、昭和63年7月進水</p>
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 2、視界 良好 海象：波高 約 1.0m
インシデントの経過等	<p>本船は、船長及び乗組員1人が乗り組み、豆駿崎南方沖の漁場において、約0.1～0.2ノットの対地速力で移動しながら揚縄機ではえ縄を揚縄中、操舵室に設置された操縦席コンソールのバッテリー異状を示す警告灯が点灯するとともに警報が鳴った。</p> <p>船長は、機関室に入ると黒煙のようなものが漂っていたので、主機を停止して点検したが、原因が分からなかった。</p> <p>船長は、主機を再始動したところ、主機の操縦パネルの警告灯及び警報装置が作動しなかったので揚縄を再開した。約30分後、同パネルのバッテリー異状を示す警告灯が再度点灯するとともに警報が鳴り、機関室から異音が聞こえ、機関室を覗くと再び黒煙のようなものが漂っていたので、主機を停止した。</p> <p>船長は、運航不能と判断し、操業を停止して携帯電話で海上保安庁に通報した。</p> <p>本船は、来援した巡視艇によりえい航され、長崎県平戸市平戸港に入港した。</p> <p>主機は、本インシデント後、修理会社により点検が行われ、Vベル</p>

トを介して駆動するオルタネーター（発電機）のプーリー（車輪のような回転体）が固着していることが確認され、オルタネーター及びVベルトが新替えされて復旧した。

修理会社は、オルタネーターのころ軸受が潤滑剤（グリス）の消耗によって焼き付いてプーリーが固着し、プーリーの上をVベルトが滑ることで摩耗し、Vベルトの摩耗粉が拡散していたのではないかと述べた。

（図1 参照）

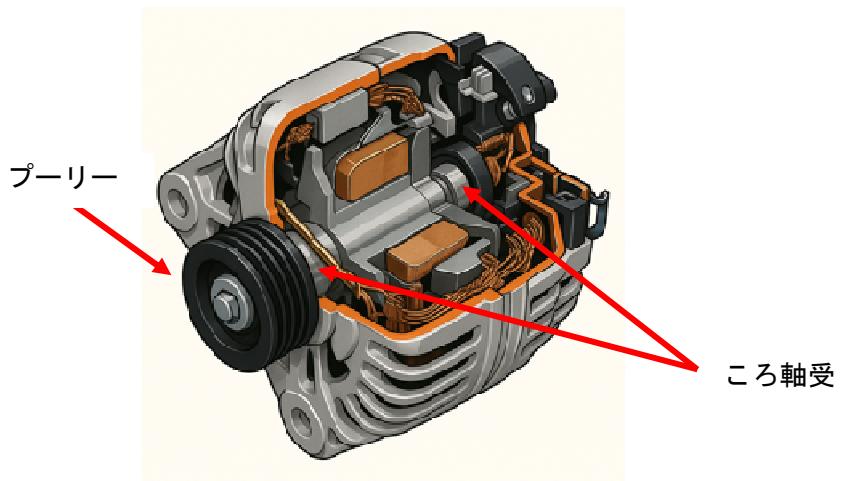


図1 オルタネーター

主機は、運転中、オルタネーターからバッテリーに充電が行われるが、バッテリーが充電されなければ、バッテリーの電圧が低下し、主機の操縦パネルのバッテリーの異状を示す警告灯及び警報装置が作動するようになっている。

主機の取扱説明書には、運転時間600時間ごとにオルタネーターを点検するよう記載されている。

船長は、平成14年頃主機を換装してから本インシデント発生まで、異状がなかったのでオルタネーターの点検を行っていなかった。

分析

本船は、移動しながら操業中、主機のオルタネーターのプーリーが固着してバッテリーの充電ができなかったことから、バッテリーの異状を示す警告灯及び警報装置が作動し、主機の始動ができなくなり、運航不能になったものと考えられる。

本インシデント後、オルタネーターのプーリーが固着していたことが認められたことから、潤滑油の消耗がころ軸受の焼き付きを引き起こした可能性があると考えられる。

船長は、主機を換装後、オルタネーターに異状がなかったことから、約22年間オルタネーターの点検を行わなかったものと考えられる。

原因

本インシデントは、船長が、主機を換装してから約22年間オルタ

	<p>ネーターの点検整備をしなかったため、オルタネーターのころ軸受が経年劣化していることに気付かず、本船が操業中、オルタネーターのブーリーが固着してバッテリーの充電ができず、警告灯及警報装置が作動し、主機の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小型漁船の船長は、定期的に主機のオルタネーターを点検し、必要に応じて内部のころ軸受けの交換を修理会社等に依頼すること。 ・ 小型船舶の船長、船舶所有者は、取扱説明書に従って定期的に主機の整備をすること。